

書記が運営委員会等の資料を印刷しないことになりました

2022年7月25日
都立武蔵高等学校・附属中学校 PTA
PTA会長 守山 算哉

今回、書記の3名が男性で平日日中は仕事をしているため、平日に学校に来校して印刷作業をすることができません。

ですので、役員・委員・部員・教員のために運営委員会の資料の印刷を行うことはやめました。やめて対象者にPDFファイルだけを送っています。

印刷したい人は各自で印刷して、スマホで見るのでいい人はスマホで見てもらいます。

何年も前は、使える時間が十分にある保護者が何名かはいて、印刷作業に従事することができましたが、最近は仕事や他の活動をしながらの人が多いと思われます。

加えて、スマホの普及、コンビニ印刷の普及、PDFの普及により、PDFファイルさえあれば、各自が自分で閲覧する環境が整ってきています。

ここまでで、現実的に資料を印刷しなくする体制に変える条件は揃っています。

そして、ここでPTAの役員の役割についても整理してみます。

PTAの役員は、PTAの会務が滞りなく行われるように事務を行うことが役割です。会員ができるだけ楽をできるように時間を使ってお世話をする係ではありません。なので、印刷について言えば、

A: 書記がみんなの資料を印刷する

↓

B: 各自が自分の資料を印刷する

で運用できるのであれば、Bにすればいいということになります。

Aだと移動2時間と作業2時間 x 2人 = 8時間かかり、Bだと一人20分 x 30人 = 10時間で、Bの方が全体の時間が多いとしても、書記(と他の本部役員)への負荷の集中を解消できるので、Bの方が好ましいと考えます。

以上により、書記が運営委員会の資料を印刷することは取りやめました。

セルフサービスです。

ドリンクバーが自分でドリンクを入れに行くように、最近増えてきている、居酒屋で自分のスマホで注文するように、自分のスマホでPDFを見るか、自分でPDFを印刷してください。

運営委員会に限らず、全会員への資料配布についても基本的に同様の考え方です。

今後、個人的に時間があるから印刷可能な方でも、その後に同じ役になる方が必ずしもそうではありませんので、その点にご留意ください。